

沖縄県立図書館運営方針に基づく図書館評価（総括表）

1 各目標の推進状況

目標	1	県民に開かれた知の拠点
目指す目標像	県立図書館は、全ての県民が気軽に利用でき、県民の多様なニーズに応える「知の拠点」として、生涯学習を通じて豊かな知識と心を育む場を提供します。	
関連取組	1-①県民が主体的に集い・交流・創造する「場」づくり 1-②展示コーナーを活用した情報発信 1-③ボランティア等県民との協働 2-①障害者等向け資料の充実 2-②障がい者等サービスについての広報 2-③研修会・講演会等の開催 3-①多文化エリアのサービス充実 3-②外国人向けの情報提供の充実 4-①窓口委託業務のモニタリング等 4-②満足度アンケートの実施 5-①ホームページの充実 5-②広報誌・SNSによる情報発信 5-③各種イベントへの参加	

目標	2	琉球・沖縄関係資料の中核的図書館
目指す目標像	琉球・沖縄の文化継承・発展の中核となり、誇りうる図書館として、県民のアイデンティティの継承発展に資すること等を目的に、蔵書の核となる郷土資料の充実・保存・活用を図り、文化の創造に貢献します。	
関連取組	6-①郷土資料の網羅的収集 6-②基調書の継続的な調査・収集 6-③移民関連資料の収集・提供 6-④視聴覚資料の調査・収集・提供 7-①適切な保存環境の整備及び収蔵計画の策定 7-②寄贈資料整理計画の策定 7-③郷土資料の修復・デジタル化の実施 8-①貴重資料・新収蔵し両党に係る展示会の開催 8-②図書館資料を活用した講座・セミナー等の開催 8-③デジタルアーカイブの充実 8-④郷土資料関連サービスにかかる情報発信	

目標	3	地域や県民の課題解決を支援する図書館
目指す目標像	地域や県民の多様化・専門化する課題に対応した情報を広範囲に収集し、活用できる図書館を目指します。	
関連取組	9-①健康・医療・子育て等、課題解決サポートの充実 10-①就労、企業、経営に関する資料の収集 10-②関連機関等と連携した相談会、セミナー、講座等の開催 11-①国・県・市町村等事業との連携 12-①琉球・沖縄に関するレファレンス対応能力の向上 12-②郷土資料関連サービスにかかる情報発信 12-③移民関係資料を活用したルーツ調査等の実施	

目標	4	県域の中核となる図書館
目指す目標像	すべての県民に等しく読書環境を提供するため市町村立図書館及び図書館未設置町村を支援するとともに、関係機関とのネットワークの充実を図り、県全域の図書館サービスの向上に寄与します。	
関連取組	13-①遠隔地返却、協力貸出、電子書籍等による利便性の向上 14-①子どもの読書活動推進に資する研修等の開催 14-②読書活動推進団体及び学校図書館の支援と連携 14-③子どもの読書活動推進に資する図書館の充実及び展示会・イベント等の開催 15-①相互貸借に係る資料配送の支援 15-②市町村立図書館等との連携協力及び情報提供の強化 16-①移動（空とぶ）図書館、一括貸出、協力貸出の実施 16-②関係町村との連携協力・情報提供の強化 17-①関連・関係機関と連携した事業等の開催及びネットワークの強化 18-①県内図書館職員を対象とした研修計画の策定と実施 18-②県立図書館職員の専門性の向上及び研修機会の確保	

3 総括評価（自己評価）

活動指標の進捗について、全17項目中、「順調」が11項目、「概ね順調」が1項目、「やや遅れ」が1項目、「大幅遅れ」が4項目という結果となった。	
「順調」以外の項目については、館内システム更新作業の影響により達成できていないものが3項目、外的要因によるものが2項目、資料費予算減によるものが1項目であった。	
活動指標の目標に関しては、「課題解決支援関連図書購入冊数」の資料費の予算確保に向けた取組の継続、「パスファインダー・ブックリスト作成・更新数（一般）」の計画的な作成等を目標達成に向けてさらに取り組む必要がある。	
成果指標の進捗については、全15項目中、「達成」が5項目、「未達成」が10項目と未達成が多い結果となった。	
「未達成」の項目については、館内システム更新作業による影響によるものが5項目、外的要因によるものが4項目、資料費予算減のものが1項目であった。	
成果指標の目標に関しては、「ビジネスルーム利用数」、「オンラインデータベース端末利用回数」、「電子書籍閲覧数」等の目標達成のため、図書館サービスを多くの方に利用してもらえるよう、利用者に向けた広報等に取り組む必要がある。	
また、当館の利用者は南部・中部地域に集中しており、離島や北部地域は、当館の利用が難しい方も多いため、令和6年度中にインターネットでの利用者登録を可能にし、遠隔地でも当館のサービス利用ができるよう取組を行っていく。	

※対象年度：令和5年度

令和5年度 目標推進状況
取組は順調だが、成果は遅れている
備考（概要等）
活動指標進捗：3/3「順調」、3/4「未達成」 成果指標進捗：1/4「達成」、（ホームページアクセス（セッション）数、SNS利用数、利用登録者数） ○座席予約システム「とりたろう」（令和6年3月開始） ○NIEコーナー設置

令和5年度 目標推進状況
概ね順調
備考（概要等）
活動指標進捗：3/5「順調」、1/5「やや遅れ」、1/5「大幅遅れ」 （郷土資料受入冊数（寄贈））（郷土資料購入冊数（購入）） 成果指標進捗：2/3「達成」、1/3「未達成」 （レファレンス協同データベースアクセス数） ○琉球王国時代の家譜の寄贈受入れ（那覇士族、志良室家の「新参姓家譜」）

令和5年度 目標推進状況
取組は概ね順調だが、成果は遅れている
備考（概要等）
活動指標進捗：3/5「順調」、2/5「大幅遅れ」 （パスファインダー・ブックリスト、課題解決支援関連図書購入冊数） 成果指標進捗：1/4「達成」、3/4「未達成」 （オンラインDB利用数、レファレンスDBアクセス数、ビジネスルーム利用数） ○がんピアキャラバンへ泣いてよい場所、提供します～（相談会）

令和5年度 目標推進状況
取組は概ね順調だが、成果は遅れている
備考（概要等）
活動指標進捗：2/4「順調」、1/4「概ね順調」、1/4「大幅遅れ」 （専門性の向上に資する研修等）（移動図書館開催数） 成果指標進捗：1/4「達成」、3/4「未達成」 （市町村巡回車資料搬送点数、未設置町村等向け貸出数、電子書籍閲覧数） ○誰もが読書できる社会を目指して（読書バリアフリー講演会）

2 参考指標の推移

参考指標 1	入館者数				備考
令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
562,962人	280,451人	233,539人	392,537人	391,823人	

参考指標 2	蔵書冊数				備考
令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【R5内訳（概数）】 一般書・435千冊 児童書・68千冊 郷土・347千冊 広域サービス用・112千冊
870,895冊	909,650冊	927,856冊	947,577冊	962,626冊	

参考指標 3	貸出冊数				備考
令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【R5内訳（概数）】 一般書・239千冊 児童書・108千冊 郷土・25千冊 広域サービス用・44千冊
484,769冊	383,142冊	349,875冊	452,126冊	416,794冊	

参考指標 4	レファレンス件数（一般）				備考
令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	※R1は一般と郷土の合計値を記載 R2年度より計数方法見直しあり
16,151件	14,685件	37,001件	33,112件	28,042件	

参考指標 5	レファレンス件数（郷土）				備考
令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	※R1は一般と郷土の合計値を記載 R2年度より計数方法見直しあり
16,151件	5,777件	5,761件	7,495件	5,650件	

その他参考	開館日数				備考
令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	R1～R3は、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館あり。 ※R5はシステム更新作業のため、R6.2.6～2.29まで休館。
281日	248日	220日	294日	286日	

4 外部評価（沖縄県立図書館協議会）

本協議会では、令和5年度の沖縄県立図書館（以下、県立図書館）の活動について、詳細な利用統計をもとにした内部評価、利用者満足度調査（アンケート）の分析結果などをもとに、外部評価を行った。 「空とぶ図書館」をはじめとする広域サービスの展開や、それを支える豊かな蔵書の整備、座席予約システムの運用、レファレンス対応や窓口対応への満足度の高さを評価する意見が寄せられた一方で、新型コロナウイルスが5類へ移行し、各地の図書館も日常を取り戻した中で、県内図書館をリードする県立図書館への期待の表れとして様々な要望も寄せられた。多くの委員から要望が出た点や今後の検討課題を中心に、外部評価として以下の点を報告したい。
●図書館未設置地区での移動図書館の開催回数が、事業予算削減の影響もあり、令和5年度の当初計画値を大きく下回っており、さらに令和6年度は年間の開催回数を2回から1回へ変更するという計画が示されている。限られた予算を有効に活用すべく一括貸出による遠隔地支援にシフトしつつ、次のステップとして、読書や図書館への住民のニーズを「図書館づくり」につなげていきたい、との説明もあったが、移動図書館が届けているものは資料だけでなく、テーマ展示やお話し会といったイベントも含まれており、「年1回」という回数が適切かどうか、各地の声を聞く努力も行ってほしい。また、県立図書館が各地での図書館づくりをサポートするためには、県立図書館内にそれだけの人材が育っていることが求められる。県立図書館の専任職員に占める司書有資格者比率は47都道府県中41位（2023年調査）と、十分な体制にはなっていない。人的な制度の整備もあせて進めてほしい。
●令和5年度の利用統計をみると、開館日1日あたりの貸出冊数は減少傾向に歯止めがかかっていない。資料費は令和元年度から令和5年度にかけて「43,801千円」から「25,742千円」にまで低下し、4割以上の削減となっている。物価の上昇により、図書・雑誌等の価格も上昇する中、この資料費水準で、郷土資料を全点購入し、さらに県民の課題解決支援のために多様な資料を集め、市町村からの貸借依頼にこたえられるコレクションを構築することは難しいと思われる。内部評価でも「課題解決支援関連図書購入冊数」が「大幅遅れ」となっていたり、新刊の購入が年度後半に偏ったといった報告もあり、かなり深刻な状況に陥っているのではないかと。「県民に開かれた知の拠点」として、この問題を広く共有し、適切な資料費が確保できる方法とともに模索してほしい。
●昨年度の外部評価のコメントを受けて、内部評価の方法や評価資料の見直しを進めてもらった点は評価できるが、評価基準について、活動指標については「順調」「概ね順調」「やや遅れ」「大幅遅れ」というように細かく設定されている一方、成果指標については「達成」と「未達成」しか設定されておらず、目標値にあと少し届かないようなケースも、大きく届かないケースも同じ「未達成」となってしまうなど、正確に評価を行うためにはまだまだ見直すべき点があると考えられる。協議会としても積極的に意見を出しながら、よりよいサービス評価につながるよう、評価のあり方について議論していきたい。
●「令和5年度沖縄県立図書館利用者満足度調査」の結果報告では、駐車料金が発生することへの潜在的な不満が利用者の満足度に影響を与えることはないという分析もあったが、新館に移転してから数年が経ち、駐車料金を払いたくない（払えない）層は県立図書館を利用しておらず、アンケートにもこたえていない可能性もある。また、アンケートの自由記述欄には「休館日の案内なく駐車場に停めたら料金発生した」という不満も寄せられていたが、駐車場の入口に「休館日」と大きく表示するだけでなく改善できる要望もあると思われる。アンケートの自由記述欄では複数の設問で駐車場に対する不満はかなり多く寄せられており、平等なアクセスが実現できる方法がないか、粘り強く検討を続けてほしい。
●「令和5年度沖縄県立図書館利用者満足度調査」の有効回答数は「190」と多くはないが、自由記述欄にはたくさんの意見が書き込まれており、県立図書館に対する要望と期待が強く感じられた。その中には、「小説の新作が少ない」「人気本を複数入れてほしい」、「（図書館資料を使わない）自習用の座席をもっと増やしてほしい」などの要望も散見され、県立図書館が果たすべき役割が利用者にはなかなか伝わっていない様子も見られた。こうした「誤解」を解いていくことも重要であり、図書館入口付近の意見ボックスに対する回答の掲示のように、「図書館だより」などをつかって、利用者の声を紹介しつつ、県立図書館と市町村立図書館の役割を伝えていくような努力も行ってほしい。
このほかにも、本協議会では、郷土資料の相互貸借のあり方や利用方法、県立図書館として自習席を設置する意義など、様々な意見・要望が寄せられ、例年以上に、委員と事務局との活発な意見交換が行われた。詳細な利用統計をもとにしっかりとした内部評価が行われ、その結果をわかりやすく提示していただくことで議論を大いに深めることができた。内部評価、そしてこの外部評価を含めて、評価を評価で終わらせず、今後の図書館活動に生かせるよう、職員間で課題を共有し、具体的な対策が実行されることを期待している。